

タクシー運転手の労働と生活、健康についての追跡調査

調査票 その2

(毎回の調査で使用)

あなたの健康について

(SF-36 : 健康関連 QOL 尺度)

あなたの健康について

このアンケートはあなたがご自分の健康をどのように考えているかをおうかがいするものです。あなたが毎日をどのように感じ、日常の活動をどのくらい自由にできるかを知るうえで参考になります。お手数をおかけしますが、何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

以下のそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに印 (☑) をつけてください。

問1 あなたの健康状態は？ (一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

最高に良い	とても良い	良い	あまり 良くない	良くない
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問2 1年前と比べて、現在の健康状態はいかがですか。
(一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

1年前より、 はるかに良い	1年前よりは、 やや良い	1年前と、 ほぼ同じ	1年前ほど、 良くない	1年前より、 はるかに悪い
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問3 以下の質問は、日常よく行われている活動です。あなたは健康上の理由で、こうした活動をするのがむずかしいと感じますか。むずかしいとすればどのくらいですか。
 (ア～コまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

とても むずかしい	少し むずかしい	ぜんぜん むずかしく ない
▼	▼	▼

- ア) 激しい活動、例えば、一生けんめい走る、
重い物を持ち上げる、激しいスポーツをするなど..... 1..... 2..... 3
- イ) 適度の活動、例えば、家や庭のそうじをする、
1～2時間散歩するなど..... 1..... 2..... 3
- ウ) 少し重い物を持ち上げたり、運んだりする
(例えば買い物袋など) 1..... 2..... 3
- エ) 階段を数階上までのぼる..... 1..... 2..... 3
- オ) 階段を1階上までのぼる..... 1..... 2..... 3
- カ) 体を前に曲げる、ひざまずく、かがむ..... 1..... 2..... 3
- キ) 1キロメートル以上歩く..... 1..... 2..... 3
- ク) 数百メートルくらい歩く..... 1..... 2..... 3
- ケ) 百メートルくらい歩く..... 1..... 2..... 3
- コ) 自分でお風呂に入ったり、着がえたりする..... 1..... 2..... 3

問4 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、身体的な理由で次のような問題がありましたか。（ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい）

いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
▼	▼	▼	▼	▼

ア) 仕事やふだんの活動をする
時間をへらした 1 2 3 4 5

イ) 仕事やふだんの活動が
思ったほど、できなかつた 1 2 3 4 5

ウ) 仕事やふだんの活動の内容に
よっては、できないものが
あつた 1 2 3 4 5

エ) 仕事やふだんの活動をする
ことがむずかしかつた
(例えばいつもより努力を
必要としたなど) 1 2 3 4 5

問5 過去1カ月間に、仕事やふだんの活動（家事など）をするにあたって、心理的な理由で（例えば、気分がおちこんだり不安を感じたりしたために）、次のような問題がありましたか。（ア～ウまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい）

いつも	ほとんど いつも	ときどき	まれに	ぜんぜん ない
▼	▼	▼	▼	▼

ア) 仕事やふだんの活動をする
する時間をへらした 1 2 3 4 5

イ) 仕事やふだんの活動が
思ったほど、できなかつた 1 2 3 4 5

ウ) 仕事やふだんの活動が
いつもほど、集中して
できなかつた 1 2 3 4 5

問6 過去1カ月間に、家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、どのくらい妨げられましたか。

(一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

ぜんぜん、 さまた 妨げられ なかった	わずかに、 さまた 妨げられた	少し、 さまた 妨げられた	かなり、 さまた 妨げられた	非常に、 さまた 妨げられた
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問7 過去1カ月間に、体の痛みをどのくらい感じましたか。

(一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

ぜんぜん なかった	かすかな 痛み	軽い 痛み	中くらい の痛み	強い 痛み	非常に 激しい痛み
▼	▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5	<input type="checkbox"/> 6

問8 過去1カ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）が痛みのために、どのくらい妨げられましたか。 (一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

ぜんぜん、 さまた 妨げられな かった	わずかに、 さまた 妨げられた	少し、 さまた 妨げられた	かなり、 さまた 妨げられた	非常に、 さまた 妨げられた
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問9 次にあげるのは、過去1カ月間に、あなたがどのように感じたかについての質問です。

(ア～ケまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

	いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない
	▼	▼	▼	▼	▼
ア) 元気いっぱいでしたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
イ) かなり神経質でしたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
ウ) どうにもならないくらい、 気分がおちこんでいましたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
エ) おちついていて、 おだやかな気分でしたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
オ) 活力(エネルギー)に あふれていましたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
カ) おちこんで、ゆううつな 気分でしたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
キ) 疲れはてていましたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
ク) 楽しい気分でしたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5
ケ) 疲れを感じましたか.....	<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問10 過去1カ月間に、友人や親せきを訪ねるなど、人とのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で、時間的にどのくらい妨 ^{さまた} げられましたか。

(一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

いつも	ほとんどいつも	ときどき	まれに	ぜんぜんない
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

問 11 次にあげた各項目はどのくらいあなたにあてはまりますか。(ア～エまでのそれぞれの質問について、一番よくあてはまるものに☑印をつけて下さい)

まったく そのとおり	ほぼ あてはまる	何とも 言えない	ほとんど あてはまら ない	ぜんぜん あてはまら ない
▼	▼	▼	▼	▼

- ア) 私は他の人に比べて病気に
なりやすいと思う 1 2 3 4 5
- イ) 私は、人並みに健康である 1 2 3 4 5
- ウ) 私の健康は、悪くなるような
気がする 1 2 3 4 5
- エ) 私の健康状態は非常に良い 1 2 3 4 5

これでこのアンケートはおわりです。
ご協力ありがとうございました。

タクシー運転手の労働と生活、健康についての追跡調査

個人結果報告票

2007・2008

2007 年版

ハイヤー・タクシー運転手の労働と生活、健康についての追跡調査

メタボリック症候群・睡眠・生活の質 (QOL:クオリティ・オブ・ライフ) についての調査結果個人票

この報告書は、昨年(2006年2月)に実施した第一回調査の結果の内、個人にお返しすることが適切と考えられる項目、すなわちメタボリック症候群の可能性、昼間の眠気の自己評価、生活の質(QOL:クオリティ・オブ・ライフ)の三つの項目の結果についてお知らせすることを目的としています。ただしこれらの結果は、アンケートの調査によるものであり、客観性や正確さにかける点もあります。各項目の注意書きをよくお読みいただいたうえで、御自身の生活習慣の改善や健康管理のための参考情報として御利用ください。

ID番号 1 お名前 _____ (お問い合わせの際には、お名前とID番号をお知らせください)

① メタボリック症候群の可能性について

【解説】

メタボリック症候群(代謝症候群、メタボリックシンドロームともいいます)とは、内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に高血糖・高血圧・高脂血症のうち2つ以上を合併した状態を指します。

これらは単独でも生活習慣病にかかる危険性を高める要因ですが、複数の要因を同時に持つことで、脳卒中や心筋梗塞などの発生頻度が高まるため、近年、予防・治療の対象と考えられるようになりました。

ただし、平成16年度の国民健康・栄養調査(厚生労働省)によると日本の中年男性の半分近くがこの「症候群」やその予備群に該当しているため、病気として扱うべきかどうかについては議論があります。

【結果の見方】

右の表で、腰まわりが85cm(男性の場合)、あるいは90cm(女性の場合)以上で、なおかつ①~③の内、二項目以上に○がついた方はメタボリック症候群の可能性がります。

アンケートでのあなたのお答え

腰まわりはどれくらいですか	80	センチくらい
---------------	----	--------

現在以下の項目で当てはまるものがありますか。当てはまる項目すべてに○をつけてください。

中性脂肪が多い(高い)、または善玉(HDL)コレステロールが少ない(低い)といわれている	○	…①
血圧が高い(高血圧)といわれている	-	…②
血糖値が高い(糖尿病)といわれている	-	…③
いずれにも当てはまらない	-	
よくわからない	-	

② 昼間の眠気の自己評価(エプワース眠気尺度による)

【解説】

昼間の眠気が運転を職業とする労働者にとって、安全上重要な問題であることは明らかです。

第一回目の調査では、昼間の眠気についてエプワース眠気尺度(Epworth Sleeping Scale:ESS)とよばれる質問を使ってたずねました。

この質問は、今話題となっている「睡眠時無呼吸症候群」(Sleep Apnea Syndrome:SAS)のスクリーニング、つまりその疑いがあるかどうかをふるい分けるための、簡便な検査としても使われています。

【結果の見方】

右の表で合計点が合計点が11点を超えると、昼間の眠気が強すぎる状態と解釈されます。解説の通り、この検査は睡眠時無呼吸症候群の簡便な検査法として使われるようになってきてはいますが、本年1月に新聞報道等があったとおり、点数が低くても睡眠時無呼吸症候群と診断されるケースは少なくなく、この質問の結果だけから判断することは適切ではありません。

なお、「うたた寝の程度」は以下のように採点します。

0点:うたた寝をすることはない

1点:たまにうたた寝をする

2点:時々うたた寝をする

3点:よくうたた寝をする

ただし、無回答[-]がある場合の合計得点は評価できませんので、ご注意ください。

アンケートでのあなたのお答え

【問い】あなたは次のような状況で、うとうと(うたた寝)したり寝入ったりすることがありますか。最近のふだんの生活をふり返ってお答えください。最近このようなことがなくても、どの程度ありそうか考えてみてください。以下の8つの状況について、最も当てはまるうたた寝の程度(0~3)を答えてください。

	うたた寝の程度(0-3点)
座って本を読んでいる時	3 点
テレビを見ている時	1 点
映画館や会議中など公共の場所でただ座っている時	- 点
休息をとらずに1時間車に同乗者として乗っている時	0 点
特に用事がなく、午後横になって休んでいる時	3 点
座って誰かと会話している時	0 点
昼食後(ただしアルコール無し)、静かに座っている時	1 点
車に乗車中、渋滞で数分間とまっている間	0 点
合計得点	8 点

裏(生活の質)に続きます

③ 生活の質(クオリティー・オブ・ライフ:QOL)について

【解説】

クオリティー・オブ・ライフとは、かつて医療が病気を治すことのみ目を奪われ、病気に苦しむ人の生活への配慮が欠けた時代に生まれてきた言葉といつてよいと思います。

「一病息災」という言葉があるように、私たちにとって病気を持っている状態は必ずしも不幸であるとは限りません。仮にそのように考えるならば、幸せなお年寄りなど一人もいないということになってしまうでしょう。

クオリティー・オブ・ライフ、ここでは「生活の質」と訳します。は単に人が健康かどうかだけを考えるのではなく、たとえ病気を持った状態であっても、社会の中で生き生きと生活できているかどうかを評価します。

今回の調査では、世界中で使われているSF-36という特別な質問を使っています。この質問を使って生活の質を評価すると、日本人の平均と比べたりしながら、自分自身の健康状態を評価できるという利点があります。

【結果の見方】

表には体の機能や日常生活での身体的な不都合など、8つの項目ごとに点数が示されています。

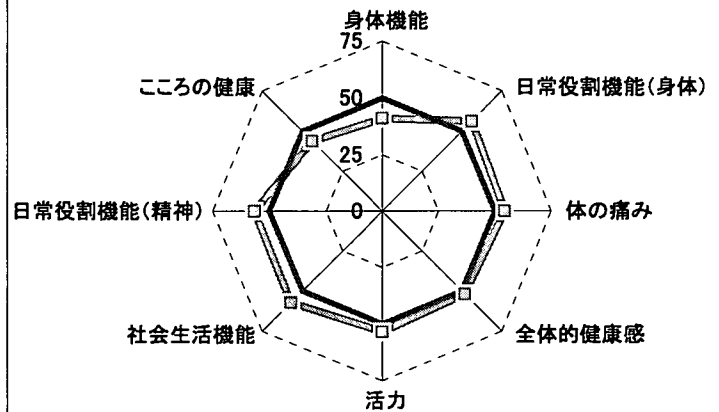
50点が日本国民の平均点で、点数が高ければそれだけ健康状態や生活の質が良い状態と考えられ、一方点数が低い場合には、健康状態が良くないことで生活上の不都合などが感じられる状態と考えてよいでしょう。

各項目についてのより詳しい説明については、下の表をご覧ください。

この調査では特に、今後の追跡によって、仕事の中のような要素が、生活の質を左右してゆくのかを検討する材料として用います。

項目別得点

項目	得点	項目	得点
身体機能	41	活力	53
日常役割機能(身体)	56	社会生活機能	57
体の痛み	54	日常役割機能(精神)	57
全体的健康感	52	こころの健康	44



緑の線[一]は日本国民の平均得点[50点]を
ピンクの線[一]はあなたの得点を
それぞれあらわしています

項目	得点の解釈	
	低い	高い
身体機能	健康上の理由で、入浴または着替えなどの活動を自力で行うことが、とてもむずかしい	激しい活動を含むあらゆるタイプの活動を行うことが可能である
日常役割機能(身体)	過去1か月間に仕事やふだんの活動をした時に身体的な理由で問題があった	過去1か月間に仕事やふだんの活動をした時に、身体的な理由で問題がなかった
身体の痛み	過去1か月間に非常に激しい体の痛みのためにいつもの仕事が非常にさまたげられた	過去1か月間に体の痛みはぜんぜんなく、体の痛みのためにいつもの仕事がさまたげられることはぜんぜんなかった
社会生活機能	過去1か月間に家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で非常にさまたげられた	過去1か月間に家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でさまたげられることはぜんぜんなかった

項目	得点の解釈	
	低い	高い
全体的健康感	健康状態が良くなり、徐々に悪くなっていく	健康状態は非常に良い
活力	過去1か月間、いつでも疲れを感じ、疲れはてていた	過去1か月間、いつでも活力にあふれていた
日常役割機能(精神)	過去1か月間、仕事やふだんの活動をした時に心理的な理由で問題があった	過去1か月間、仕事やふだんの活動をした時に心理的な理由で問題がなかった
心の健康	過去1か月間、いつも神経質でゆううつな気分であった	過去1か月間、おちついていて、楽しく、おだやかな気分であった

【問い合わせ先】

この個人結果報告書の内容について不明な点などがございましたら、以下まで遠慮なくお尋ねください。

〒214-8585 川崎市多摩区長尾6-21-1
独立行政法人 労働安全衛生総合研究所
毛利一平

電話 044-865-6111
ファックス 044-865-6124
電子メール mouri@h.jniogh.go.jp

2008 年版

ハイヤー・タクシー運転手の労働と生活、健康についての追跡調査

メタボリック症候群・睡眠・生活の質（QOL：クオリティ・オブ・ライフ）についての調査結果個人票

この報告書は、昨年(2007年2月)に実施した第二回調査の結果の内、個人にお返しすることが適切と考えられる項目、すなわちメタボリック症候群の可能性、昼間の眠気の自己評価、生活の質(QOL:クオリティ・オブ・ライフ)の三つの項目の結果についてお知らせすることを目的としています。今回は第一回調査との比較ができるよう結果を示してありますので、現在の状況と比べながら生活習慣や健康管理のあり方を振り返ってみていただければと思います。

なおこれらの結果は、いずれもアンケートの調査によるものであり、客観性や正確さにかける点もあります。各項目の注意書きをよくお読みいただいたうえで、御自身の生活習慣の改善や健康管理のための参考情報として御利用ください。

ID番号 1 お名前 _____ 様 (お問い合わせの際には、お名前とID番号をお知らせください)

① メタボリック症候群の可能性について

【解説】

① メタボリック症候群(代謝症候群、メタボリックシンドロームともいいます)とは、内臓脂肪型肥満(内臓肥満・腹部肥満)に高血糖・高血圧・高脂血症のうち2つ以上を合併した状態を指します。

② これらは単独でも生活習慣病にかかる危険性を高める要因ですが、複数の要因を同時に持つことで、脳卒中や心筋梗塞などの発生頻度が高まるため、近年、予防・治療の対象と考えられるようになりました。

③ 今年(2008年)4月より、国によって「特定健診」が行われるようになり、メタボリック症候群やその疑いのある方には、「特定保健指導」が行われるようになります。

④ ただ、「メタボリック症候群」の診断基準に対する疑問を多くの方が指摘している状態で、こうした大がかりな健診を行うことに対しては強い批判もあります。いずれにせよ、基本は体重の管理です。あまり惑わされずに、食事と運動に気をつけてください。

【結果の見方】

下の表で、腰まわりが85cm(男性の場合)、あるいは90cm(女性の場合)以上で、なおかつ①～③の内、二項目以上に○がついた方はメタボリック症候群の可能性がります。

なお、血圧、中性脂肪、血糖値の本来の基準は以下のとおりです。

- ▶ 血圧 130/85mmHg以上
- ▶ 中性脂肪 150mg/dL以上
- ▶ または善玉(HDL)コレステロール 40mg/dL未満
- ▶ 血糖 110mg/dL以上

アンケートでのあなたのお答え

腰まわりはどれくらいですか	80	80	センチくらい
現在以下の項目で当てはまるものがありますか。当てはまる項目すべてに○をつけてください。	2006年	2007年	
中性脂肪が多い(高い)、または善玉(HDL)コレステロールが少ない(低い)といわれている	○	○	…①
血圧が高い(高血圧)といわれている	-	-	…②
血糖値が高い(糖尿病だ)といわれている	-	-	…③
いずれにも当てはまらない	-	-	
よくわからない	-	-	

緑色の項目がメタボリック症候群の診断基準に含まれるものです

② 昼間の眠気の自己評価（エプワース眠気尺度による）

【解説】

昼間の眠気が運転を職業とする労働者にとって、安全上重要な問題であることは明らかです。

第二回目の調査でも、一回目に引き続き昼間の眠気についてエプワース眠気尺度 (Epworth Sleeping Scale:ESS) とよばれる質問を使つてたずねました。

この質問は、最近話題となっている「睡眠時無呼吸症候群」(Sleep Apnea Syndrome:SAS)のスクリーニング、つまりその疑いがあるかどうかをふるい分けするための、簡便な検査としても使われています。

【結果の見方】

下の表で

合計点が11点を超えると、

昼間の眠気が強すぎる状態と解釈されます。解説の通り、この検査は睡眠時無呼吸症候群の簡便な検査法として使われるようになってきてはいますが、以前新聞報道等にあつたとおり、点数が低くても睡眠時無呼吸症候群と診断されるケースは少なくなく、この質問の結果だけから判断することは適切ではありません。

今回は、2006年と2007年の結果を比較できるように並べてみました。一年間で何か変化が現れているで

しょうか。今の状況とも比べてみてください。うたた寝の程度が強くなってきている場合には、睡眠の専門医に相談するなど注意が必要と思われます。

なお、「うたた寝の程度」は以下のように採点します。

- 0点:うたた寝をすることはしない
- 1点:たまにうたた寝をする
- 2点:時々うたた寝をする
- 3点:よくうたた寝をする

ただし、無回答「-」がある場合の合計得点は評価できませんので、ご注意ください。

アンケートでのあなたのお答え

【問い】あなたは次のような状況で、うとうと(うたた寝)したり寝入ったりすることがありますか。最近のふだんの生活をふり返ってお答えください。最近このようなことがなくても、どの程度ありそうか考えてみてください。以下の8つの状況について、最も当てはまるうたた寝の程度(0~3)を教えてください。

うとうとする場面	うたた寝の程度(0-3点)	
	2006年	2007年
座って本を読んでいる時	3 点	1 点
テレビを見ている時	1 点	2 点
映画館や会議中など公共の場所でただ座っている時	- 点	0 点
休息をとらずに1時間車に同乗者として乗っている時	0 点	0 点
特に用事がなく、午後横になって休んでいる時	3 点	2 点
座って誰かと会話している時	0 点	0 点
昼食後(ただしアルコール無し)、静かに座っている時	1 点	0 点
車に乗車中、渋滞で数分間とまっている間	0 点	0 点
合計得点	8 点	5 点

③ 生活の質（クオリティー・オブ・ライフ：QOL）について

【解説】

「一病息災」という言葉があるように、私たちにとって病気を持っている状態は必ずしも不幸であるとは限りません。仮にそのように考えるならば、幸せなお年寄りなど一人もいないということになってしまおうでしょう。

クオリティー・オブ・ライフ、ここでは「生活の質」と訳しますが、は単に人が健康かどうかだけを考えるのではなく、たとえ病気を持った状態であっても、社会の中で生き生きと生活できているかどうかを評価します。

この調査では、皆さんの生活の質を調べるために、SF-36という特別な質問を使っています。この質問を使うことで、日本人の平均と比べたりしながら、自分自身の健康状態を評価することができます。

【結果の見方】

表には体の機能や日常生活での身体的な不都合など、8つの項目ごとに点数が示されています。

50点が日本国民の平均点で、点数が高ければそれだけ健康状態や生活の質が良い状態と考えられ、一方点数が低い場合には、健康状態が良くないことで生活上の不便などが感じられる状態と考えてよいでしょう。

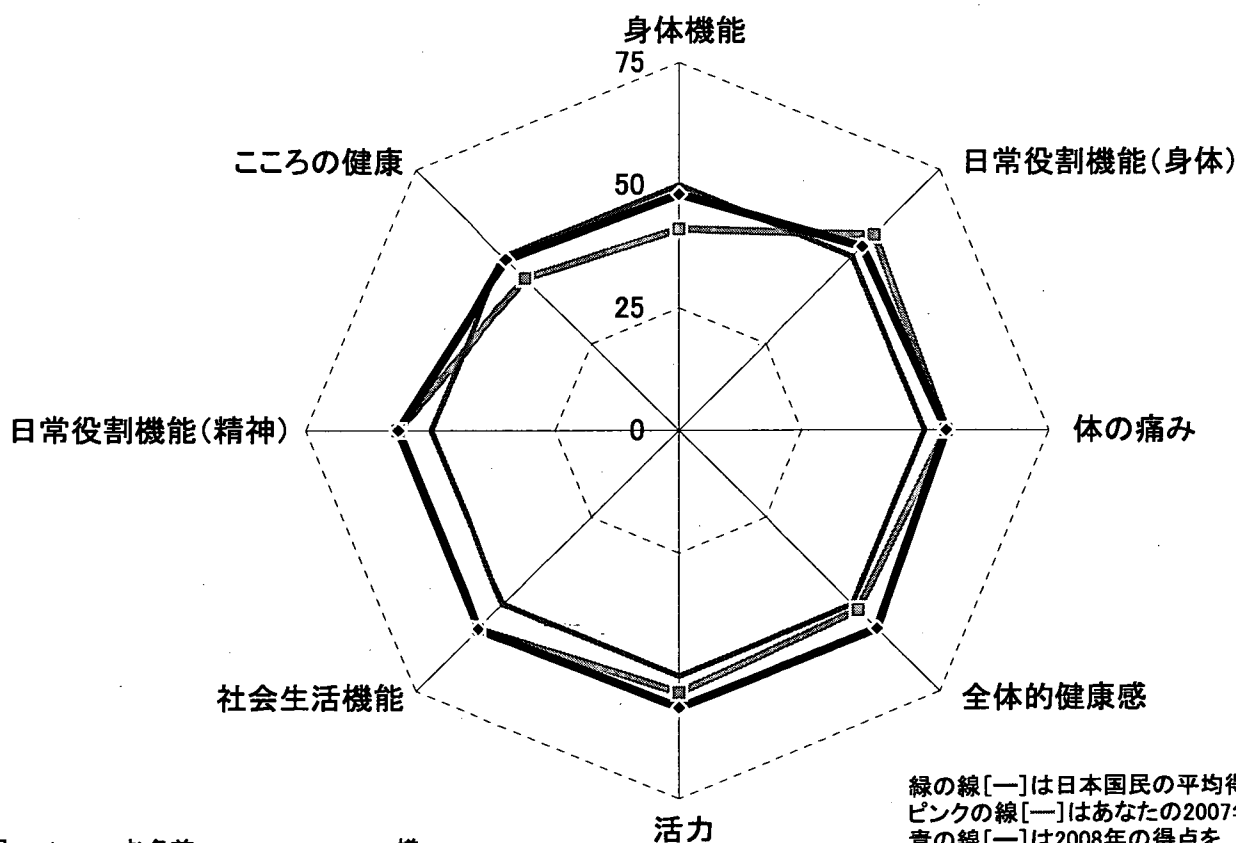
各項目についてのより詳しい説明については、次ページ(4ページ)の表をご覧ください。

今回は昨年の調査結果の値と比較し、一年前とどのような違いがあったかを知ることができるようにしてあります。

生活の質項目別得点

生活の質項目	得点	
	2006年	2007年
身体機能	41	48
日常役割機能(身体)	56	53
体の痛み	54	54
全体的健康感	52	57

生活の質項目	得点	
	2006年	2007年
活力	53	56
社会生活機能	57	57
日常役割機能(精神)	57	57
こころの健康	44	49



[生活の質] 各項目の説明

3ページの表やグラフにある項目の意味は、この表にお示ししたとおりです。それぞれの項目の得点が50点を超えて、60点ぐらいあるような場合には、「得点が高い」のところに示されたような解釈ができます。

一方で、得点が50点より低く、40点ぐらいであった場合には「得点が低い」のところに示されたような解釈ができます。

項目	得点の解釈	
	得点が低い	得点が高い
身体機能	健康上の理由で、入浴または着替えなどの活動を自力で行うことが、とてもむずかしい	激しい活動を含むあらゆるタイプの活動を行うことが可能である
日常役割機能(身体)	過去1ヵ月間に仕事やふだんの活動をした時に身体的な理由で問題があった	過去1ヵ月間に仕事やふだんの活動をした時に、身体的な理由で問題がなかった
身体の痛み	過去1ヵ月間に非常にはげしい体の痛みのためにいつもの仕事に非常にさまたげられた	過去1ヵ月間に体の痛みはぜんぜんなく、体の痛みのためにいつもの仕事にさまたげられることはぜんぜんなかった
社会生活機能	過去1ヵ月間に家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由で非常にさまたげられた	過去1ヵ月間に家族、友人、近所の人、その他の仲間とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でさまたげられることはぜんぜんなかった
全体的健康感	健康状態が良くなく、徐々に悪くなっていく	健康状態は非常に良い
活力	過去1ヵ月間、いつでも疲れを感じ、疲れはてていた	過去1ヵ月間、いつでも活力にあふれていた
日常役割機能(精神)	過去1ヵ月間、仕事やふだんの活動をした時に心理的な理由で問題があった	過去1ヵ月間、仕事やふだんの活動をした時に心理的な理由で問題がなかった
心の健康	過去1ヵ月間、いつも神経質でゆううつな気分であった	過去1ヵ月間、おちついていて、楽しく、おだやかな気分であった

【問い合わせ先】

この個人結果報告書の内容について不明な点などがございましたら、以下まで遠慮なくお尋ねください。

〒214-8585 川崎市多摩区長尾6-21-1
 独立行政法人 労働安全衛生総合研究所
 毛利一平、佐々木毅

電話 044-865-6111
 ファックス 044-865-6124
 電子メール mouri@hjniogh.go.jp, sasakit@hjniosh.go.jp

タクシー運転手の労働と生活、健康についての追跡調査

概要パンフレット

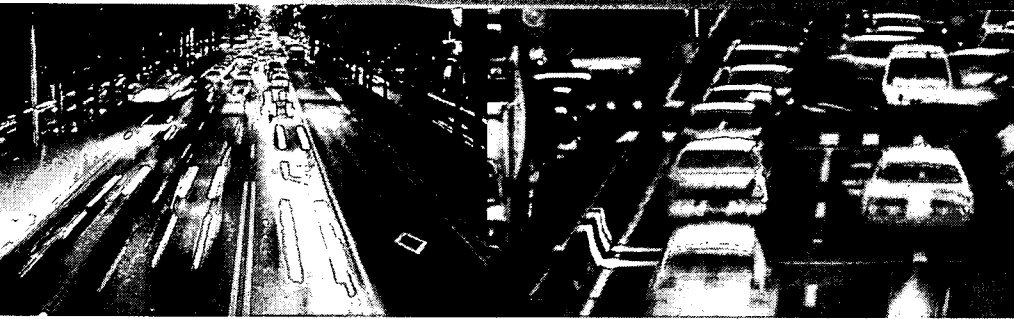
2007・2008

2007 年版

ベースライン調査結果の概要

ハイヤー・タクシー運転手の労働と生活、健康についての追跡調査

第一回（ベースライン）調査結果の概要
「健康で安全に働くために」



2007年2月

独立行政法人 労働安全衛生総合研究所

このパンフレットは、2006年2月に実施した、標記調査の結果について、調査にご参加いただいた皆様にわかりやすくお知らせすることを目的として作成したものです。

≡この調査の目的≡

今回の調査は、タクシー運転手という働き方がどのようなもので、それが健康や生活習慣にどのような影響を与えるか、3年間追跡することで明らかにすることを目的としています。

第一回目の調査では、大きく三つの項目について、参加者の皆さんにお尋ねしました。

第一に「働き方について」。これは、タクシー運転手としての現在の労働条件についての質問です。

次に生活習慣について。食事や運動の習慣についてお尋ねしました。

三つ目は健康について。皆さんの健康状態、疲労や睡眠についてお尋ねしました。

このパンフレットでは、これらの調査の結果の詳細を、図表を用いてわかりやすく解説しました。

≡調査の経過≡

今回の調査については、2005年12月に自交総連東京地方連合会に協力をお願いし、了承をいただきました。

2006年2月には調査対象の候補となる方1,167名をご紹介いただき、調査票を送らせていただきました。

このうち、住所の変更などにより113名の方に調査票が届かず、4名が参加を辞退されました。

回答は全部で505名から寄せられましたが、そのうち6名については氏名の記入がありませんでした。

これらの方を除き、追跡の対象となるのは残りの499名の皆さんとなります。

この報告書では、499名のうち女性や一部アンケートへの回答が不完全であった方など11名を除いた、488名の集計結果をご報告いたします。